

# 入間川流域緊急治水対策プロジェクトにおける取組（川島町）

## 主な取組項目

### （１）多重防御治水の推進

#### ■ 高台避難所

- ・ 緊急時の一時避難所として、整備を推進
- ・ 有効性、規模、整備手法を検討中

### （２）減災に向けた更なる取り組みの推進

#### ■ 水防体制の見直し

- ・ タイムラインを始めとした水防体制の見直し
- ・ 適切な災害情報の発信や、水害時に即応が可能な体制整備の確立

#### ■ 他機関・民間施設を含めた避難場所の確保

- ・ 川島町は、堤防が決壊した場合に、町内全域が浸水域となるため、町外への避難が極めて重要
- ・ 町外の一時的避難所として11か所、約6,000台の駐車スペースを確保

### 広域避難場所一覧

施設名	駐車場（台数）
埼玉県こども動物自然公園	約800台
大東文化大学緑山キャンパス	約100台
山村学園短期大学	約100台
松山女子高校	約20台
エスタディオ東松山店	約700台
ノア東松山店	約700台
パーラーEX滑川店	約600台
ハイワールド	約850台
第一プラザ坂戸1000	約670台
D'STATION坂戸	約930台
COEDOクラフトビール醸造所	約500台
みどりの郷あすか東松山（福祉避難所）	



令和2年3月23日

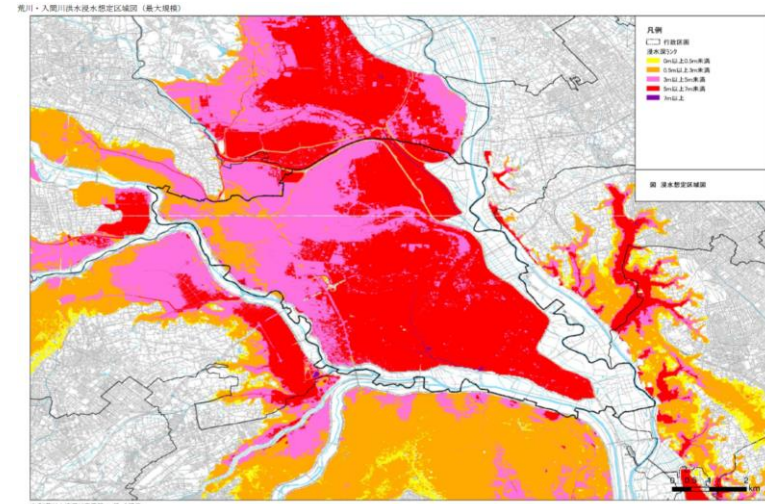
川島町と(株)平和アルミ製作所、(株)第一住宅、NEXUS(株)との協定書調印式  
(水害時における施設等の提供協力に関する協定書調印式)

## ■ 浸水リスク情報の周知

- 洪水ハザードマップを改訂し、浸水リスクや避難の重要性を周知
- 浸水リスクや避難方法について7月中に防災説明会を各地区で実施するほか、広報紙や町HPで周知

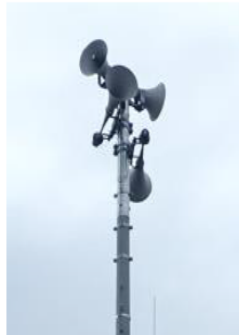
## ■ 戸別受信機の整備

- 新たな防災情報伝達手段として、屋外スピーカーに代わり、戸別受信機を全戸配布



荒川・入間川洪水浸水想定区域図（最大規模）

現在



屋外スピーカー（防災行政無線）

災害時は、屋外スピーカー（防災行政無線）から流れる、防災情報を聞いて避難する。

### ！台風などの場合

屋外スピーカーは、環境音に左右されやすく、台風による暴風や豪雨等の時は、聞こえづらい。



今後



戸別受信機（イメージ写真）

災害時は、戸別受信機から流れる、防災情報を聞いて避難する。

※屋外スピーカーについては、町内65か所から25か所に変更



### 戸別受信機以外にも

戸別受信機以外にも、かわべメールやLINE、ホームページやデータ放送等により、同様の防災情報を発信する。

## ■ 避難所における感染症対策

- 新型コロナウイルス感染症対策として災害備蓄品を購入
- 冷感マスク、アルコール消毒液、ニトリル手袋、フェイスガード、非接触型体温計、感染防護服、プライベートテント等